



## 東北復興 PSW にゆうす

当にゆうすでは、これまで岩手、宮城、福島県の3県支部長からメッセージをいただきました。東日本大震災から6年が経過しましたが、各県各地、そして一人ひとりの置かれた状況は様々です。現地では、非日常に適應せざるを得ない状況も散見されます。そこで、今号は現地構成員からご寄稿いただきました。ご高覧いただければ幸いです。

### リレーメッセージ



#### 「私の今の思い（2）」～福島～

(公社) 日本精神保健福祉士協会 福島県支部  
副支部長 水野英一 (新田目病院)

福島の現状については「東北復興 PSW にゆうす」の他に、復興支縁ツアーや2年前の福島での全国大会等を通して構成員の皆さまにお伝えしてきましたので、

今回は私自身の心境を伝えられればと思います。

私の勤務地は福島県いわき市にあります。震災直後より様々なメディアで大きく取り上げられた自治体の一つです。震災当時は震度6強の地震が約3分30秒続き（とあるニュースでは「いわき市が一番長く揺れた」と紹介していました）、めったに降らない雪がちらちらと舞うなか、患者様を避難誘導した経過をまず思い出します。また、水道を主としたライフラインの復旧にも時間がかかり、支援物資を調達する日々が続きました。

幸いにも私の勤務地と自宅は、津波や放射能の影響で避難を要するところではありませんでしたが、原発事故が発生した当時のいわき市は風評被害に打ちのめされ、物流が滞ったのみならず、この場所で生活を続ける自信を失いそうになりました。この気持ちは「疎外」や「失望」といった言葉で表現できるかと思います。そして、そのように感じさせる風評被害は「差別」という言葉に置き換えてもおかしくないとも思いました。とはいえ、今回の経験では、家族や近隣住民の方々と話す機会が普段より増えたことや、友人・知人・関係者からも温かいメールや連絡をもらったこと等、人とのつながりを強く感じる事が出来たエピソードも数多くあり、「悪いことばかりではないな」と思えたのも事実です。



今回の震災で風評被害を受けたという経験のなかで、私自身様々な感情と向き合ってきたつもりです。そして、この経験を私の精神保健福祉士としての転機と捉え、日々の業務に活かさないかと考えるようになりました。相手の気持ちを汲み取った言動をとること、相手が出来たことを尊重して背中を押せるような支援をすること、湧き出す感情を統制した判断に基づく言動を取ることなど等、ソーシャルワークの基幹部分を大切にしようと改めて認識できたからです。

最後に一言。「このような気持ちになれたのは、職場の同僚や福島県精神保健福祉士会の皆さま、構成員の皆さまの存在があったからこそです！本当に感謝申し上げます。」

## [減災(※)対策]備えあれば...

備えあれば憂いなし！救護救援も自身の安全確保あってこそ。今回は減災対策の一例をご紹介します。ぜひ、参考になさってください。

■事前準備物(非常時持ち出し)リスト例	■合った方がよいものの例
<input type="checkbox"/> 現金(小銭) <input type="checkbox"/> 身分証明書 <input type="checkbox"/> 印鑑・通帳 <input type="checkbox"/> 飲料水 <input type="checkbox"/> 非常食 <input type="checkbox"/> 保険証 <input type="checkbox"/> 薬 <input type="checkbox"/> ラジオ <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> ティッシュ <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> 携帯電話・充電器・モバイルバッテリー(予備電源) <input type="checkbox"/> 雨具 <input type="checkbox"/> 防寒具 <input type="checkbox"/> 軍手	<input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> ゴミ袋 <input type="checkbox"/> サララップ <input type="checkbox"/> ホイッスル <input type="checkbox"/> 家族の写真 <input type="checkbox"/> デジカメ <input type="checkbox"/> 音楽プレーヤー <input type="checkbox"/> マジック <input type="checkbox"/> 養生テープ [家族間の決めごと] (例) <input type="checkbox"/> 複数の連絡手段 <input type="checkbox"/> 集合場所 <input type="checkbox"/> 1次避難・2次避難場所・3次避難場所

\*減災：災害時、被害を皆無にすることは不可能という前提に立ち、起こり得る被害を最低限にとどめ短期化しようという防災の取り組み (引用：大辞林)

### ★お知らせ★

#### ー被災地の事業所紹介&販路拡大支援事業ー

復興支援の一環として、東日本大震災被災地の「障害福祉サービス事業所等の紹介」と「販路拡大支援事業」を実施しています。詳細はWEBサイトを参照ください。\*リンク事業所も募集中です！

<http://www.japsw.or.jp/ugoki/f-jyoho.html>

### ★予告★ ー今年もやります！物販@大阪大会ー

9月の第53回全国大会・第16回学術集会でも復興支援の一環として事業所の製品販売を行います。それに伴い販売協力員(ボランティア)を募集いたします。詳細は次頁をご参照ください。

### ★ご紹介★ ー東日本大震災復興支援委員会ー

東日本大震災後に災害対策本部を経て復興支援本部が設置されました。その後、当委員会名で事業を継承し、おおむね3ヶ月毎に委員会を開催し、各地の地域事情や課題の共有、また復興に関する意見交換、委員会のあり方や復興支“縁”ツアーの企画等を行っています。

詳細は、本協会WEBサイト(会員ページ)の議事録にアップされていますので、ぜひご覧ください^^♪

[http://www.japsw.or.jp/kaiin/iinkai/2016-2017/report\\_and\\_member.html](http://www.japsw.or.jp/kaiin/iinkai/2016-2017/report_and_member.html)

## ★募集★【東日本大震災復興支援】助成金交付申請(第11期)★募集★

本協会では、東日本大震災復興支援事業の一環として、都道府県精神保健福祉士協会等による復興支援活動の経費を助成しています。詳細は本協会WEBサイトをご参照ください。皆さまからのご応募をお待ちしております。

#### ☑第11期申請受付期限

2017年7月31日(月) : 当日消印有効

#### ☑申請方法

「交付申請書」に必要事項をご記入のうえ、本協会事務局宛にご郵送ください。

<http://www.japsw.or.jp/backnumber/oshirase/2017/0531.html>



マスコット  
キャラクター

皆さまからのご応募を心よりお待ちしております♡

### 【ご意見・ご感想をお寄せください】

本紙では被災した各地の仲間へのメッセージ及び被災地からの情報発信など、相互交流ができる紙面づくりを目指しております。全国どなたからのメッセージでも構いません。本紙へのご意見・ご感想も大歓迎です。それぞれのお立場からの声をお聞かせください。お寄せいただいたメッセージは、本紙面や本協会WEBサイトにてご紹介させていただきます(原則として投稿者氏名以外の個人情報は掲載いたしません)。

メッセージ投稿方法: 東日本大震災復興支援委員会宛のFAXもしくはE-mail(office@japsw.or.jp)にてお願いいたします。

★題名に「PSWにゆうすについて」とご記入をお願いいたします。★

第29号 2017年7月15日発行

発行：公益社団法人 日本精神保健福祉士協会 東日本大震災復興支援委員会

〒160-0015 東京都新宿区大京町23-3 四谷オーキッドビル7階 TEL.03-5366-3152 FAX.03-5366-2993

★URL：<http://www.japsw.or.jp/>

★東日本大震災復興支援サイト <http://www.japsw.or.jp/ugoki/f-jyoho.html>